

浅間山噴火を想定した防災訓練

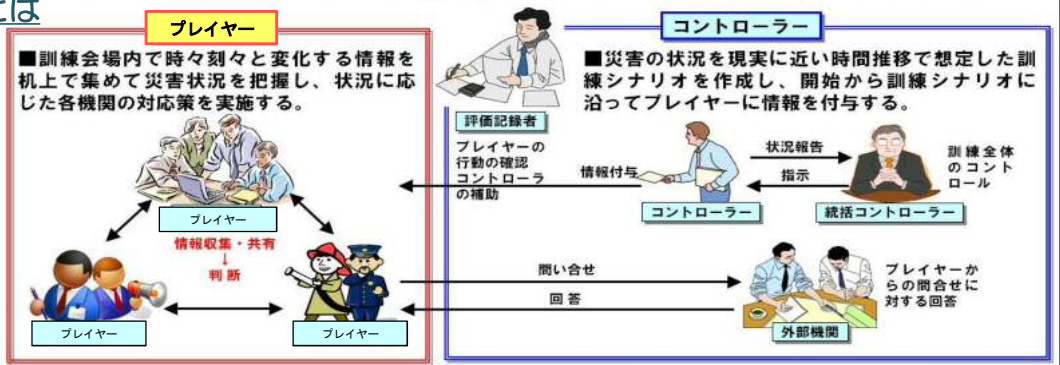
浅間山噴火時の防災対応を円滑かつ効果的に実施するためには、平常時からの防災訓練が重要です。このため、浅間山周辺の自治体及び防災関係機関等から構成される浅間山火山防災協議会は、浅間山噴火時の防災行動の確認、関係機関の情報連絡体制の確認等を目的としたロールプレイング方式の防災訓練を平成28年2月15日（月）に実施しました。

本訓練は平成19年度から実施され、今回が9回目になります。

ロールプレイング方式訓練とは

防災訓練には実働型と図上型があり、ロールプレイング方式防災訓練は図上型です。

机上で情報を集めて、災害状況を疑似体験し災害対策の一員として、どのように対応していくかを習得するための訓練です。（疑似体験訓練法）



訓練開会挨拶
熊川 孺恋村長



34機関
109名
が参加

